

児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

問題 136 事例を読んで、V里親養育包括支援(フォスタリング)機関のD相談員(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Vフォスタリング機関のソーシャルワーカーであるD相談員は、養育里親であるEさん夫婦からFさん(9歳)の相談を受けた。Eさん夫婦はFさんの養育里親委託を受け、5年になる。このところ、Fさんが実親のことを詳しく知りたいと言い出し、どうしたらよいか悩んでいると話す。Eさん夫婦は、実親のことを知ることで、自分たちとの関係が不安定になるのではないかと危惧しているとD相談員に話した。

- 1 Fさんは思春期に入る前なので、今は伝えない方がよいと助言する。
- 2 Fさんの最善の利益を考え、Fさんに実親のことをどのように伝えるかについて相談する。
- 3 Eさん夫婦が自分たちを追い詰めないことを優先する必要があると、実親の話題が出たら話を変えてみることを提案する。
- 4 D相談員からFさんに、実親のことを知らない方がFさんのためだと伝えることを提案する。
- 5 実親についての全ての情報を、Fさんに直ちに伝えなければならないと助言する。

問題 137 事例を読んで、妊娠中のGさんが出産後に母子で居住する場について、H 婦人相談員(社会福祉士)がこの時点で利用を勧める施設として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Gさん(18歳)は夫から暴力を受けて、心も身体も深く傷ついており、「出産で入院することをきっかけに夫から逃げたい。子どもは自分一人で育てる」とH婦人相談員に相談した。Gさんは親族との関係が断絶しており、実家に戻ることもできないという。働いたこともなく様々な不安があるので、子どもとの生活設計を支援してもらえるところを希望している。

- 1 母子生活支援施設
- 2 児童家庭支援センター
- 3 産後ケアセンター
- 4 乳児院
- 5 母子・父子休養ホーム

問題 138 「児童虐待防止法」に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 児童相談所長等は、児童虐待の防止及び児童虐待を受けた児童の保護のため、施設入所している児童を除き、面会制限を行うことができる。
- 2 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、できる限り通告するよう努めなければならない。
- 3 児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待の早期発見を行わなければならない。
- 4 児童が同居する家庭における配偶者に対する生命又は身体に危害を及ぼす暴力は、児童虐待の定義に含まれる。
- 5 児童に家族の介護を行わせることは、全て、児童虐待の定義に含まれる。

(注) 「児童虐待防止法」とは、「児童虐待の防止等に関する法律」のことである。

問題 139 事例を読んで、相談を受けたW母子健康包括支援センター(子育て世代包括支援センター)の相談員(社会福祉士)がJさんにこの時点で利用を勧める事業として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

Jさん(30歳, 女性)は, 夫と8か月の息子と共に暮らしている。Jさんは現在, 育児休業を取得している。最近, 時折とても悲しくなったり, 落ち込んだりすることがある。どうしてよいか分からず, 仕事への復帰に不安を感じるようになった。そこで住まいの近くにあるW母子健康包括支援センター(子育て世代包括支援センター)に, そのことを相談することにした。

- 1 児童自立生活援助事業
- 2 保育所等訪問支援事業
- 3 乳児家庭全戸訪問事業
- 4 産後ケア事業
- 5 児童発達支援事業

問題 140 児童手当に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 児童手当の支給には, 所得制限が設けられていない。
- 2 児童手当は, 子どもの年齢が高い方が支給額は高くなる。
- 3 児童扶養手当を受給している者には児童手当は支給されない。
- 4 児童手当の受給を希望する者が申請の手続を行う必要はない。
- 5 15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童は, 支給要件児童に該当する。

問題 141 保育士に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保育士資格は社会福祉法に規定された国家資格である。
- 2 保育士としての登録は市町村が行い、保育士登録証が交付される。
- 3 保育士は保育士の信用を傷つけるような行為をしてはならないとされている。
- 4 保育士の業務を離れた後に、守秘義務を課されることはない。
- 5 保育士資格取得後に3年ごとの更新のための研修が義務づけられている。

問題 142 虐待のおそれがある場合の児童相談所長の権限に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 家庭への立入調査を学校に委託することができる。
- 2 一時保護を行うためには、保護者の同意を得なければならない。
- 3 一時保護を里親に委託して行うことができる。
- 4 一時保護は3か月以上行わなければならない。
- 5 児童虐待を行う親の親権喪失を決定できる。